

## 鉢の裁きへの前奏曲〔要約〕

ヨハネの黙示録 15:1~8

- 1 また私は、天にもう一つの巨大な驚くべきしるしを見た。七人の御使いが、最後の七つの災害を携えていた。神の激しい怒りはここに窮まるのである。
- 2 私は、火の混じった、ガラスの海のようなものを見た。獣と、その像と、その名を示す数字とに打ち勝った人々が、神の立琴を手にして、このガラスの海のほとりに立っていた。
- 3 彼らは、神のしもべモーセの歌と小羊の歌とを歌って言った。「あなたのみわざは偉大であり、驚くべきものです。主よ。万物の支配者である神よ。あなたの道は正しく、真実です。もろもろの民の王よ。
- 4 主よ。だれかあなたを恐れず、御名をほめたたえない者があるでしょうか。ただあなただけが、聖なる方です。すべての国々の民は来て、あなたの御前にひれ伏します。あなたの正しいさばきが、明らかにされたからです。」
- 5 その後、また私は見た。天にある、あかしの幕屋の聖所が開いた。
- 6 そしてその聖所から、七つの災害を携えた七人の御使いが出て来た。彼らは、きよい光り輝く亜麻布を着て、胸には金の帯を締めていた。
- 7 また、四つの生き物の一つが、永遠に生きておられる神の御怒りの満ちた七つの金の鉢を、七人の御使いに渡した。
- 8 聖所は神の栄光と神の大能から立ち上る煙で満たされ、七人の御使いたちの七つの災害が終わるまでは、だれもその聖所に、入ることができなかった。

### 前回までの復習

#### (A) 獣を拝む者たち

黙示録 14:9 また、第三の、別の御使いも、彼らに続いてやって来て、大声で言った。「もし、だれでも、獣とその像を拝み、自分の額か手に刻印を受けるなら、

黙示録 14:10 そのような者は、神の怒りの杯に混ぜ物なしに注がれた神の怒りのぶどう酒を飲む。また、聖なる御使いたちと小羊との前で、火と硫黄とで苦しめられる。

黙示録 14:11 そして、彼らの苦しみの煙は、永遠にまでも立ち上る。獣とその像とを拝む者、まただれでも獣の名の刻印を受ける者は、昼も夜も休みを得ない。

反キリストの像を拝まなければ偽預言者から殺されます、そして666の刻印を受けなければ餓死するしかありません。しかし、反キリストの像を拝み、666の刻印を押されれば殺されることはないが、神様から火と硫黄池に投げ込まれ、永遠に苦しみを受ける。

黙示録 20:15 いのちの書に名のある者はいない者はみな、この火の池に投げ込まれた。  
この苦しみは永遠に続く

黙示録 14:13 また私は、天からこう言っている声を聞いた。「書きしるせ。『今から後、主にあつて死ぬ死者は幸いである。』」御霊も言われる。「しかり。彼らはその労苦から解き放されて休むことができる。彼らの行ないは彼らについて行くからである。」  
神様は殉教を勧めておられます。

#### (B) 7つの災害を携えた7人の天使

黙示録 15:1 また私は、天にもう一つの巨大な驚くべきしるしを見た。七人の御使いが、最後の七つの災害を携えていた。神の激しい怒りはここに窮まるのである。

天にもう一つの巨大な驚くべきしるしを見た。3番目のしるし。

7つの災害を携えた7人の天使・・天使は神様の仲介者として働く。

神の激しい怒りはここに窮まるのである。「窮まる」＝「完了した。」

黙示録 15:2 私は、火の混じった、ガラスの海のようなものを見た。獣と、その像と、その名を示す数字とに打ち勝った人々が、神の立琴を手にして、このガラスの海のほとりに立っていた。

「ガラスの海のようなもの」＝「神様の臨在を表している」 「火の混じった」＝「神様の怒り」

「獣」＝「反キリスト」・・その像を拝まず、666の刻印を受けなかった人々は殉教の死を選ぶしかないのです。しかし神の立琴を手にして神を礼拝できるということは、超自然的な方法で生きているのです。

黙示録 14:1 また私は見た。見よ。小羊がシオンの山の上に立っていた。また小羊とともに十四万四千人の人たちがいて、その額には小羊の名と、小羊の父の名とがしるしてあった。

この14万4千人も反キリストの像を拝まず、反キリストの刻印666を受けなかった人々です。

14万4千人が生きているということは、神様の超自然的な方法で生きているのです。

#### (C) モーセの歌、子羊の歌

黙示録 15:3 彼らは、神のしもべモーセの歌と小羊の歌とを歌って言った。「あなたのみわざは偉大であり、驚くべきものです。主よ。万物の支配者である神よ。あなたの道は正しく、真実です。もろもろの民の王よ。

神様は万物の支配者です。モーセの歌

出エジプト記 15:1 そこで、モーセとイスラエル人は、主に向かって、この歌を歌った。彼らは言った。「主に向かって私は歌おう。主は輝かしくも勝利を取られ、馬と乗り手とを海の中に投げ込まれたゆえに。

紅海を渡った後、主に向かって歌ったのです。神様の御業をほめたたえています。

小羊の歌

黙示録 15:4 主よ、だれかあなたを恐れず、御名をほめたたえない者があるでしょうか。ただあなただけが、聖なる方です。すべての国々の民は来て、あなたの御前にひれ伏します。あなたの正しいさばきが、明らかにされたからです。」

神様が天患難を起さされた目的は、神様を恐れることを教えるためです。多くの人は神様を馬鹿にしています。神様を恐れないことが罪です。千年王国で、すべての国々の民は来て、あなたの御前にひれ伏します。

ピリピ 2:10 それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、

(D) 開かれた天の幕屋の

黙示録 15:5 その後、また私は見た。天にある、あかしの幕屋の聖所が開いた。

黙示録 15:6 そしてその聖所から、七つの災害を携えた七人の御使いが出て来た。彼らは、きよい光り輝く亜麻布を着て、胸には金の帯を締めていた。

「あかしの幕屋」＝「神殿」、「至聖所」＝「大祭司が年に1度しか入れない。」

至聖所と聖所を隔っていた幕が開かれた。七つの災害を携えた七人の御使いが出て来た。

光り輝く亜麻布を着て、神の代理人としての天使。

(E) 7つの鉢

黙示録 15:7 また、四つの生き物の一つが、永遠に生きておられる神の御怒りの満ちた七つの金の鉢を、七人の御使いに渡した。

黙示録 15:8 聖所は神の栄光と神の大能から立ち上る煙で満たされ、七人の御使いたちの七つの災害が終わるまでは、だれもその聖所に、はいることができなかった。

黙示録 4:6 御座の前は、水晶に似たガラスの海のようにであった。御座の中央と御座の回りに、前もうしろも目で満ちた四つの生き物がいた。

4つの生き物の一つが7つの鉢を7人の御使いに渡した。

【結論】

神様はどうして

「(1) 巻物の裁き (2) ラッパの裁き (3) 鉢の裁き」を行われるのでしょうか。

黙示録 16:9 こうして、人々は激しい炎熱によって焼かれた。しかも、彼らは、これらの災害を支配する権威を持つ神の御名に対してけがしごとを言い、悔い改めて神をあがめることをしなかった。

人間が自分の罪を悔い改めるためです。人間は神様の前にどこまで傲慢なのでしょうか。神様は人間の傲慢を打つために裁きを行われます。神様は試練をどうして、人間の傲慢さを打ち砕いてくださるのです。

出エジプト記 13:21 主は、昼は、途上の彼らを導くため、雲の柱の中に、夜は、彼らを照らすため、火の柱の中にいて、彼らの前を進まれた。彼らが昼も夜も進んで行くためであった。

出エジプト記 13:22 昼はこの雲の柱、夜はこの火の柱が民の前から離れなかった。

神様は、昼は雲の柱で、夜は火の柱でイスラエルの民を導かれました。神様は、紅海の中に道を作り、イスラエルの民を救われました。モーセとイスラエルの民は神様の偉大さを心からほめたたえました。

出エジプト記 17:1 イスラエル人の全会衆は、主の命により、シンの荒野から旅立ち、旅を重ねて、レフィティムで宿営した。そこには民の飲む水がなかった。

出エジプト記 17:2 それで、民はモーセと争い、「私たちに飲む水を下さい。」と言った。モーセは彼らに、「あなたがたはなぜ私と争うのですか。なぜ主を試みるのですか。」と言った。

出エジプト記 17:3 民はその所で水に渴いた。それで民はモーセにつぶやいて言った。「いったい、なぜ私たちがエジプトから連れ上ったのですか。私や、子どもたちや、家畜を、渇きで死なせるためですか。」

神様は、紅海を渡らせてくださる神様です。どうして、飲み水がないような試練を与えられるのでしょうか。神様だけに頼る訓練は、荒野が最適なのです。人間がどんなに努力しても水を得ることはできません。神様だけが水を与えることができることを、イスラエルの民に教えたかったのです。

出エジプト記 17:4 そこでモーセは主に叫んで言った。「私はこの民をどうすればよいのでしょうか。もう少しで私を石で打ち殺そうとしています。」

出エジプト記 17:5 主はモーセに仰せられた。「民の前を通り、イスラエルの長老たちを幾人か連れ、あなたがナイルを打ったあの杖を手にとって出て行け。」

出エジプト記 17:6 さあ、わたしはあそこのホレブの岩の上で、あなたの前に立とう。あなたがその岩を打つと、岩から水が出る。民はそれを飲もう。」そこでモーセはイスラエルの長老たちの目の前で、そのとおりにした。

出エジプト記 17:7 それで、彼はその所をマサ、またはメリバと名づけた。それは、イスラエル人が争ったからであり、また彼らが、「主は私たちの中におられるのか、おられないのか。」と言って、主を試みたからである。

荒野ですから、神様に頼るしか方法はないのです。東京ですと、市役所に頼めば何とかしてくれます。荒野は、神様に頼るしか方法はないのです。神様に頼る訓練をするためには荒野が最適なのです。

出エジプト記 16:4 主はモーセに仰せられた。「見よ。わたしはあなたがたのために、パンが天から降るようにする。民は外に出て、毎日、一日分を集めなければならない。これは、彼らがわたしのおしえに従って歩むかどうかを、みるためである。

パンはマナと言います。これは完全食です。これを食べていると病気になるはず健康で肥満にもならない。私たちは住む所もあるし、食料もあります、病気になるれば病院があります。神様に頼らなければやっていけないことはほとんどないのです。これでは人間は傲慢になります。出エジプト記ではありませんが、試練は祝福なのです。

1コリント 10:13 あなたがたのあった試練はみな人の知らないようなものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを耐えることのできないような試練に合わせるようなことはなさいません。むしろ、耐えることのできるように、試練とともに、脱出の道も備えてくださいます。